

第3回野洲市交通ネットワーク構想検討委員会 ～議事概要～

日時：平成24年12月25日（火）13：30～15：25

場所：野洲市役所本館3階 第1委員会室

■議事次第

1 開会、あいさつ	
2 議事 (1) 野洲市交通ネットワーク構想 (素案)について 資料2、資料3、資料4  (2) 今後のスケジュールについて 資料5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回検討委員会の内容確認、及び資料の補足説明を行った後、野洲市交通ネットワーク構想（素案）について説明を行った。</li> <li>・補足資料により、構想策定に当たって、パブリックコメントと併せ、物流に係る企業向けの補足調査について説明を行った。</li> </ul>
3 その他	
4 閉会	

■参加者

	氏名	所属等	備考
委員	中川 大	京都大学大学院工学研究科教授	(委員長)
	松永 諭	野洲市商工会副会長	欠席 (副委員長)
	永田 征二	野洲市自治連合会会長	
	谷 とよ子	守山野洲交通安全協会女性部	
	田中 貢	国土交通省近畿地方整備局道路部 地域道路調整官	
	徳島 英和	滋賀県 南部土木事務所長	
	松家 昌雄	守山警察署 交通課長	欠席
	仲江 九二孝	湖南広域消防局 東消防署長	
	川端 和夫	野洲工業会 オリベスト株式会社	
	樋口 俊助	社団法人滋賀県バス協会 専務理事	
	木村 靖	貸切バス業務 びわこ観光バス株式会社	
事務局	野洲市長 山仲 善彰		
	野洲市都市建設部道路河川課 国県事業対策室		
	同 政策調整部企画調整課		
	同 市民部生活安全課		

## 委員会風景写真



## ■議事概要

2 議事
(1) 野洲市交通ネットワーク構想（素案）について 資料2により第2回検討委員会資料の補足説明を行った後、資料3及び資料4により野洲市交通ネットワーク構想（素案）について事務局から説明を行った。
(2) 今後のスケジュールについて 資料5により今後のパブリックコメントの実施、及び第4回検討委員会の開催に向けたスケジュールについて事務局から説明を行った。

委員による意見交換 (1) 野洲市交通ネットワーク構想（素案）について
1-1・パブリックコメントについては、素案全体を提示するのか、それとも概要版の方を提示するのか。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
1-2・両方と考えているが、本編と概要版は重複しているため、どちらがよいかも含めて皆さんにお諮りしたい。 <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
2-1・第2章の課題と第3章の構想とがどう繋がっているのか、構成が異なるため分かりにくいところがある。配列が必ずしも一致していなくてもよいが、分かりやすいほうがよいと思う。 「渋滞の解消」を形成方針の最初に持ってきているが、これについてはどうかと思う。何のために渋滞を解消したいのか。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
2-2・生活の質や産業の競争力、安全性、これらをもつための前向きな考え方であるはずが、担当課からすれば渋滞対策をしたいということで、議論が元に戻ってしまっている。 渋滞対策は大事な課題ではあるが、全体の中のひとつの課題として位置づけていきたい。 <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
3-1・渋滞を解消するための手段としては、まちを寂れさせる以外にない。 賑やかなまち、魅力的なまちには皆が行きたいと思うわけで、どんな手段を講じても渋滞はなくなる。 渋滞の解消は目的ではなく、よりスムーズに動けることによって、まちに活力を与える、魅力的にする、経済や産業を発達させる、そうしたことが目標になってくると思う。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
3-2・いただいたご意見を踏まえ、再度構成させていただきたい。 <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
4-1・目的としては、ハード面とソフト面の連携によりネットワークを構築していくこととなるが、構成を見ると、ハードとソフトが入り組んだ構成になっていて分かりにくい。

ハード面ではどういう道路が必要なのか、それと併せてソフト面はどうするのか分けて記述した方がよいと思う。

公共交通の利用促進については、交通弱者への対策は共通認識としてあるが、今後、より高齢化が進み、バスが本当に必要な公共交通の手段として残っているか不安なところもある。市の方でも利用促進をお願いしたい。

子ども向けの啓発資料があるが、子どもがバスを利用しないのは、親の世代がバスを利用しなくなっているところもあり、裾野を広げる取り組み、バスが運行しやすい環境整備（駐輪場や道路照明の整備、信号の制御等）も必要になってくると思う。運行会社への働きかけとともに市民への働きかけも必要になってくるかと思う

防災・危機管理の観点から、ヘリポートの整備についても書いてあり、よいのではないかと思う。

広域的なネットワークについては、県のほうでも交通ビジョンの中で地域交通について検討されているので、整合性はとれているか。

(B委員)

4-2・ソフト・ハードともに「サービス」の提供と考えており、道路がないところをバスは走れない等、ハード面の整備も重要だが、どれだけの本数を走らせるのかといったソフト面についても考えている。

今回の構想では、サービスの提供を主眼にしており、道路計画をつくる、駅計画をつくるということは異なるのでご理解賜りたい。

サービスをもとに道路をどうするか、それに対していかに安全に、快適に、機能的に走れるかどうか、ハードとソフトが絡み合っただけで構想は成り立っている。

停留所の問題等、個別具体的な細かいものについては、この構想の中ではそこまで及んでいないが、ご意見を頂戴し、取り入れられるものは最大限位置づけていきたい。

県との整合性については、県の計画に基づいてということではなく、野洲市独自の状況、課題認識でもって取り組んでいる。

(事務局)

5-1・「世界に羽ばたく」という観点からも構想の策定に取り組んでいるが、優先順位があって、ひとつめに全国、世界に向けてのアクセスをいかにするか、ふたつめに近隣市町へのアクセス、最後に市内の疎通をどのようにするかという、階層別のような分け方にしてはどうか。

(C委員)

5-2・地域ネットワーク図としてまとめたものは野洲市を中心として考えていたが、図示することが難しい場合は文章表現として盛り込ませていただきたい。

・グルーピングの問題かと思うが、渋滞はどこでも起こり得る話であるので、まずは域内交通が重要で、市民が市域内を効率よく安全に通行できる、次に県内、そして国内・外へというように、ハードの整備により、県内や国内等

<p>それぞれどこに効果が出てくるか、そこを分かりやすくさせていただく。 情報を加え、効果をグルーピングさせていただくことで対応したい。 (事務局)</p>
<p>6-1・パブリックコメントについては企業のみを実施するのか。 (D委員)</p>
<p>6-2・個別に聞いて回るのは企業向けで、パブリックコメントは全ての市民を対象に実施する。 (事務局)</p>
<p>6-3・パブリックコメントの案がないので分かりにくいですが、この資料ということではいいか。この資料だけを見て意見を求められても、なかなか出てこないのではないかと。 物流の話から歩道の設置まで多岐にわたるため、例えば母親であれば子どもの安全、通勤者は駅、そこへのアクセスであると思う。いろいろな方に気になるポイントが分かりやすく、意見を書きやすい投げかけをお願いしたい。 (D委員)</p>
<p>6-4・構想における案に対するパブリックコメントであり、今回は別途に市民ニーズを探るものではないため、自治会長等との協議の中で出された意見については案の段階で盛り込んでいる。視点については提供するが、今回はこの構想の案について、これをベースに市民の皆さんに投げかけることとしたい。例えば、交通安全にポイントを絞って投げかけをするというものではない。 (事務局)</p>
<p>6-5・例えば、主婦の方が物流に対する意見などは答えにくいと思われるので、先ほどおっしゃったように、課題や解決策が分かりやすいような、市民の皆さんが答えやすいように考えていただきたい。 (D委員)</p>
<p>6-6・構想へのコメントということになるが、問題意識は明示させていただこうと考えている。 また、市のほうでは予算編成作業を市民向けに公開で行っており、そうした場においても提示させていただくこととする。 (事務局)</p>
<p>7-1・パブリックコメントの実施方法について、市民を集めて実施するのか、ネットで行うのか、資料の閲覧か、それによって細かな内容の意見が出てくると思われるので。 (E委員)</p>
<p>7-2・図書館やコミュニティセンター等に資料を設置するとともに、市のホームページ上でも公開してパブリックコメントを実施していく。 委員会の内容、経過や議事録についても全てホームページ上で公開している。 (事務局)</p>

<p>7-3・ホームページへのアクセス数などは調べられるのか。</p> <p style="text-align: right;">(C委員)</p>
<p>7-4・ホームページへのアクセス件数は出てくるが、何を目的にアクセスされているかまでは把握できていない。</p> <p>交通ネットワークについてはないが、「市長への手紙」などにより双方向のやり取りはできていると思う。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>8-1・内容の骨子として、少子高齢化、近隣市町との交流、物流や広域交通など、まちづくりとして「住み続けたいまち」とはどうあるべきなのか、人口の変遷や地域特性を踏まえ、生活の中でのネットワークをどう考えるか、大きな意味でまちづくりを考えるポイントを冒頭に盛り込むことが必要ではないか。</p> <p style="text-align: right;">(F委員)</p>
<p>8-2・生活、産業、安全の観点からの移動性の確保という問題意識で構想策定に取り組んでいることから、それらを冒頭に盛り込むとで検討を進めたい。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>9-1・物流企業向けアンケートについての話があったが、そこに働いておられる方の意見とともに、野洲市に住んでおられる方の意見も頂戴することは重要である。</p> <p>例えば花緑公園や希望が丘など、市民の方は野洲のまちの良さをよく知っておられる。また、それらへの最寄のアクセスや利便性を高めるネットワークづくりについても、PRも含めて検討の余地がある。</p> <p style="text-align: right;">(G委員)</p>
<p>9-2・平成25年度予算の市民向け説明会等の中でもご意見を頂戴したい。</p> <p>また、利用者等への具体的な聞き取り調査については、構想の段階では難しいと思われる。今回の調査は補足的に考えている。</p> <p>構想を受けて平成25年度に道路整備計画を策定する予定であり、その中で市民向け調査を実施したいと考えている。</p> <p>また、自治会長との懇談会などでも最も多くご意見を頂戴するのは道路の問題、交通の問題であり、市民からのご意見は一定頂戴していると解している。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>10-1・安全・安心の確保について、児童や高齢者のみならず、障がいのある方やベビーカー利用者など、いわゆる「交通弱者」すべてを対象とすべきではないか。</p> <p>また、先日笹子トンネルの事故があったが、経年劣化が原因ともいわれている。市内にも大小多くの橋梁があり、点検や補修といった対策もこの安全・安心の中に含まれているのかどうか。</p> <p style="text-align: right;">(E委員)</p>
<p>10-2・交通弱者とさせていただく。</p> <p>幅員の問題もあるが、市役所前の市道野洲中央線の歩道のように、自転車</p>

<p>と歩行者の明示にも取り組んでいる。</p> <p>維持管理の問題については、平成25年度から交付金等を活用しながら市内の橋梁の長寿命化に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>11-1・企業からすれば、時間軸が明示されないと投資に向けた動き、新たな事業展開ができないと思う。構想の中にも時間軸を明示できないか。</p> <p style="text-align: right;">(H委員)</p>
<p>11-2・できる限り明示させていただきたい。</p> <p>国道8号バイパスや湖南幹線などの都市計画決定されている道路や、篠原駅の橋上化のような事業について、順次取り組みを進めているので、国や県との協議により明示できるものについてはさせていただく。産業界からもどんどん提案していただければと思っている。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>11-3・県の方では3月末を目途に主要な県道に係るアクションプログラムを策定中であり、具体的な路線名について年限を明示できるものは明示していく。市の道路整備計画との調整もさせていただければと考えている。</p> <p style="text-align: right;">(F委員)</p>
<p>11-4・具体的に書けるところは書いていただきたい。構想としての効力も上がってくる。</p> <p>特に、長年の懸案事項となっている事業については、時期を明記しないと今までと同じように構想だけに終わってしまう可能性もある。</p> <p>何年とはっきり明記できない場合でも、「早急に」「喫緊の課題」など、文章表現によりメリハリをつけた形をとるのもよいかと思う。</p> <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
<p>12・防災の観点からは、いかに現場に早く到着できるかといった視点が入っており、これでよいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(I委員)</p>
<p>13-1・例えば、中心市街地の活性化といった視点はどうか。最近の交通計画の中には商店街の再生なども盛り込むところもあるが。</p> <p>まちの賑わいやまちの魅力を高めるためには重要な要素と考えているが。</p> <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
<p>13-2・形成方針の中で、野洲市の活性化の推進のところに盛り込ませていただく。新病院の問題や駅前の利用等についても、この中に入れていきたい。</p> <p>医療系、健康系の施設については魅力があると思っているので、駅前の賑わいと交通渋滞とは矛盾するところもあるが、交通も視野に入れて考えていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
<p>14-1・今回出されたご意見を踏まえて、修正をしていただき、私のほうで確認をさせていただいたうえでパブリックコメントにかけていくという形でのよろしいか。</p> <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
<p>14-2・パブリックコメントに向けた素案ということでご意見を頂戴したが、</p>

修正させていただいたものを委員長に確認していただいた後に実施していきたいと考えているので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

委員による意見交換 (2) 今後のスケジュールについて

- ・パブリックコメント及び市内企業への調査については、1月下旬から2月にかけて実施したいと考えている。
- ・パブリックコメント等を反映したものを第4回の検討委員会に諮り、議論していただきたいと考えており、委員会の後半では、構想に向けた市の道路整備計画についてもご意見を頂戴したい。
- ・日程については、平成25年2月下旬を目途に開催すべく、委員長と日程調整させていただきたい。詳細については委員の皆様にあらかじめ通知させていただく。

(事務局)